

令和8年度 戸田市立戸田中学校業務量管理・健康確保措置実施計画
(戸田中学校における働き方改革について)

1 現状

- ・令和7年4月～12月の本校の教職員の時間外在校等時間の平均 41.2時間。
- ・令和7年度の時間外在校等時間において360時間を超す教職員の割合 68.4%。
- ・保護者の学校評価はすべての項目で肯定割合が9割を超えている。
生徒の学校評価では加重平均値で「2場を清めること(2.95)」「5授業でのおしゃべり(2.88)」「8生徒間の人間関係(3.39)」「10先生の親身(さ3.29)」に課題がある。
- ・ストレスチェックの2項目で、市全体の数値を下回っている。
「上司の支援」7.6(市全体8.5)、「心身のストレス反応」17.4(市全体18.7)。

2 目標

- 全ての教職員が時間外在校等時間 月45時間以内、年360時間以内
- 全ての教職員にとって、働きがいがあり働きやすい職場を目指す
 - ・ストレスチェック項目の改善
 - ・保護者の学校評価の維持、生徒の学校評価の改善

3 具体策

(1) 業務量管理について

- 勤務時間の「見える化」と上限管理(時間外在校等時間の把握、負担業務の把握)
- 行事やその準備の見直し
- 勤務の割振の効果的活用
- 休暇等の確実な取得
- 部活動の活動時間の工夫
- 定時退勤デー・ノー部活デーの設定

(2) 健康確保措置について

- 業務量の軽減に関すること (校務分掌の調整、日課表の検討、市費職員(SSS等)の活用等)
- 面談、相談体制に関すること (管理職や主任による日々の声掛けによる関係性の向上、風通しの良い職員室づくり、教職員の相談窓口の周知、カウンセラー・健康管理医との面談等)
- 管理職による見届け(三役打合せを毎日実施し、職員の健康状態を見る、聞く、繋ぐ)

(3) その他

- 保護者・地域の理解促進(学校運営協議会の活用、働き方改革の内容の公表等)